

ペインクリニックの基本

2011年3月17日 北岡智子

痛みの定義

International Association for
the Study of Pain (IASP)

- 組織の実質的あるいは潜在的な障害に結びつくか、このような障害を表す言葉を使って述べられる不快な感覚、情動体験
 - Pain
An unpleasant sensory and emotional experience associated with actual or potential tissue damage, or described in terms of such damage
-



Vital Sign 生命徴候

- ▶ 体温
- ▶ 血压
- ▶ 心拍数
- ▶ 呼吸

+ 痛み



ペインクリニックとは

- ▶ 主として疼痛性疾患を対象とし、その診断と治療を主に神経ブロックを応用して行う診療部門

- ▶ 痛みは警告
 - 診断・治療と並行して痛みの治療を行う



ペインクリニックの対象疾患

- ▶ 疼痛性疾患
- ▶ 顔面神経麻痺・顔面痙攣
- ▶ アレルギー性鼻炎
- ▶ 突発性難聴
- ▶ 網膜血管閉塞症
- ▶ 多汗症
- ▶ 心身症
- ▶ 自律神経失調症



ペインクリニックの対象疾患

- ▶ 急性痛
- ▶ 慢性疼痛：痛みの原因が治癒した後も残存する痛み
6か月以上続くもの
- ▶ がん性疼痛



急性痛のアセスメント

評価内容	評価スケール
痛みの部位	痛みの程度:
性質	VAS
起こり方	NRS
痛みの程度	Prince-Henryのスケール
バイタルサイン	フェイススケール

Prince-Henryのスケール

0	咳をしても痛まない
1	咳をすると痛むが、深呼吸では痛まない
2	深呼吸をすると痛むが安静にしていれば痛まない
3	多少安静時痛はあるが鎮痛薬は必要でない
4	安静時痛があり、鎮痛薬が必要である

慢性疼痛のアセスメント

評価内容	評価スケール
痛み行動	SF-36
活動度	疼痛生活障害評価尺度 オズウェズトリー腰痛スケール
心理状態	心理テスト うつ病スケール
痛みの程度	VAS NRS MPQ



がん性疼痛のアセスメント

評価内容	評価スケール
痛みの部位 性質 起こり方 痛みの程度 痛みを伴う動作 心理状態 麻薬の副作用	痛みの程度： VAS NRS フェイススケール



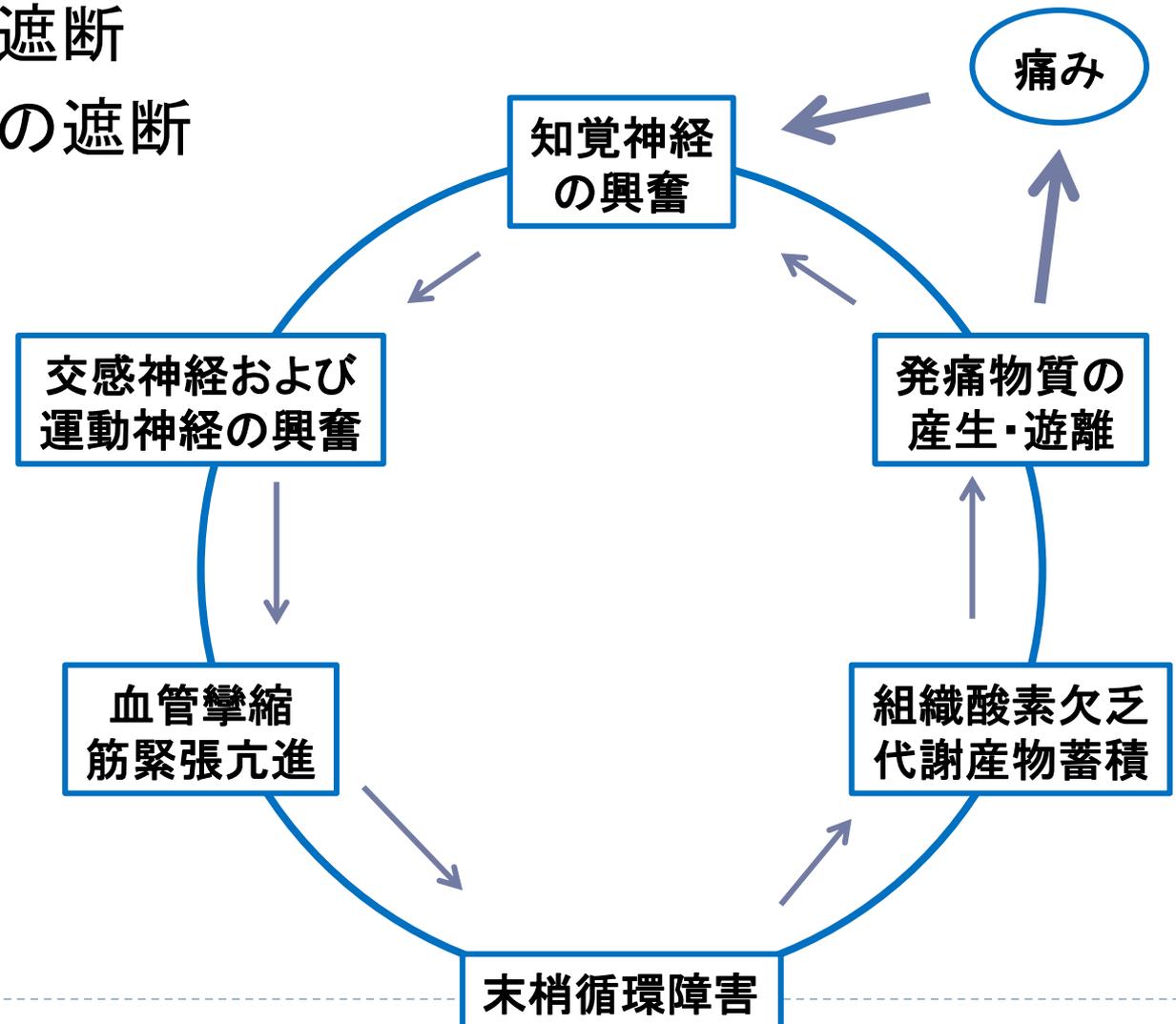
神経ブロック

- ▶ 脳脊髄神経や脳脊髄神経節または交感神経節およびそれらの形成する神経叢に向かってブロック針を刺入し、直接またはその近傍に局所麻酔薬または神経破壊薬を注入して、神経の伝達機能を一時的または永久的に遮断する方法



神経ブロックの意義

- ▶ 痛覚伝導路の遮断
- ▶ 痛みの悪循環の遮断



ペインクリニックにおける治療の目標

	治療法	ゴール設定
急性痛	薬物療法、神経ブロック療法など	完全除痛
慢性痛症	学際的アプローチ	痛みの軽減 QOLの維持、向上 (完全な除痛は困難である)
がん性疼痛	WHO方式がん疼痛治療法 鎮痛補助薬 神経ブロック	痛みに妨げられない夜間の睡眠 安静時痛(-) 動作時痛(-)



学際的アプローチ

- ▶ 痛み特に慢性疼痛を扱うには、包括的な治療が必要

多角的な痛み治療

- 身体医学的治療
- 心理療法
- 理学療法
- 認知行動療法 など